

記入例

(秘匿決定申立書は、秘匿対象者ごとに提出してください。)

基本事件：令和●●年(家ホ)第●●●●号 ●●請求事件¹
申立人（基本事件原告） 代替氏名A²
相手方（基本事件被告） ●● ●●

収入
印紙
500円

秘 匿 決 定 申 立 書

令和●●年●●月●●日

福岡家庭裁判所●●支部 御中

申立人（基本事件原告） 代替氏名A²
(□同法定代理人)

上記当事者間の頭書事件につき、申立人は、民訴法133条1項に基づき、秘匿決定の申立てをする。

申立ての趣旨

上記当事者間の頭書事件について、申立人（基本事件原告）の住所及び氏名を秘匿するとの決定を求める。

申立ての理由

申立人の住所等及び氏名等について、【具体的な理由を記載。ただし、秘匿事項が表れないよう注意】相手方に実際の居住地や氏名を知られると社会生活を営むのに著しい支障を生ずるおそれがある。

よって、申立人は、民訴法133条1項に基づき、申立ての趣旨記載のとおり、秘匿の決定をされたく、本申立てをする。

疎明資料

- | | |
|-----------------------|----|
| 1 診断書（抄） ³ | ●通 |
| 2 陳述書 | ●通 |
| 3 写真 | ●通 |
| 4 支援措置決定通知 | ●通 |

¹ 訴状と同時に提出する場合には事件番号の記入不要

² 氏名を秘匿する決定を求める場合は、本申立書に氏名は記載せず「代替氏名A」等と記載する。署名押印欄（●●●●@）も「代替氏名A」と表示すれば足り、例外的に押印は不要

³ 病院名が住所の推知事項になる事案では、マスキングした診断書を提出する。